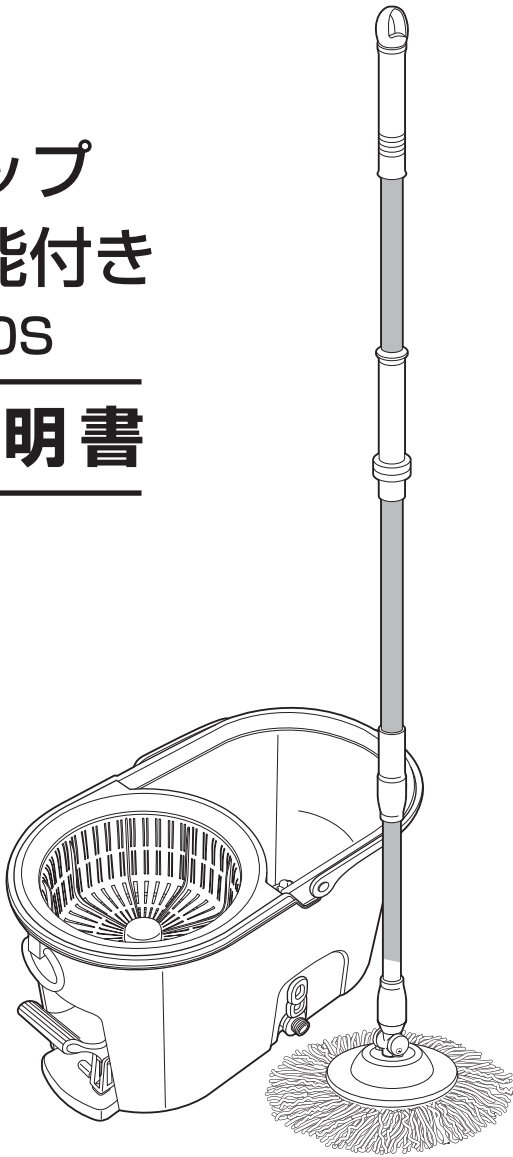


品 名：取説 KMO-540S  
サイズ：297×H420mm（A3）  
材 質：コート73kg  
刷 色：2C（PANTONE Black CVC＋PANTONE 179 CVC）

**K** **PANTONE 179 CVC**  
**表面**



# 回転モップ 洗浄機能付き KMO-540S 取扱説明書



このたびはお買い上げいただきありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。  
また、本書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう  
大切に保管してください。

## 安全上のご注意

安全にご使用いただくために下記の事項を必ずお守りください

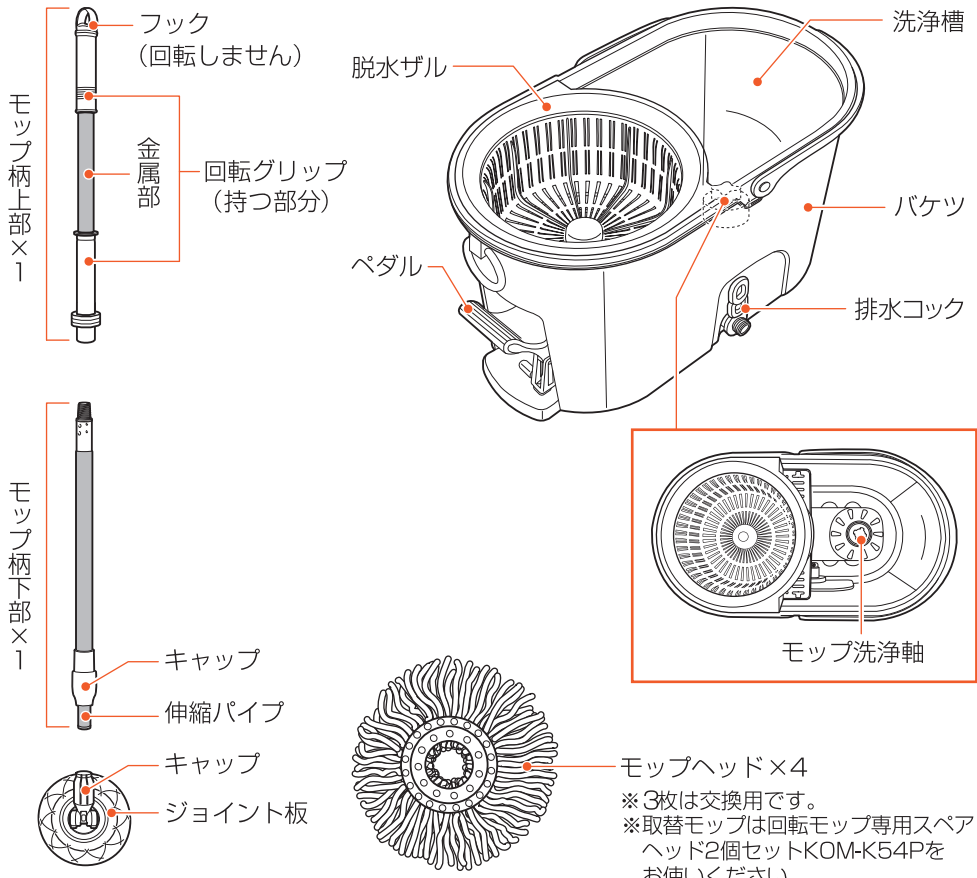
**用途：清掃用品**      用途以外の目的には使用しないでください。

- ！ 警告**      誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- モップを脱水する際は、モップ柄上部の穴に指を入れたままペダルを踏まないでください。フックは固定されているため、指を入れたまま回転させると大変危険です。
  - 本製品は高速回転しますので、お子さまがいたずらしないよう十分ご注意ください。
  - 火気や暖房器具のそばでは使用しないでください。火災や、やけど、製品の破損・変形・変色のおそれがあります。
  - 脱水ザルは、本品のモップの水切り以外の目的で使用しないでください。
  - 脱水ザルが回転中は、ザルやペダル部分に絶対に手などを入れないでください。特にお子さまやペットが近くにいる場合は十分ご注意ください。

- ！ 注意**      誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。
- 製品を移動するときは引きずらないでください。本体や床が傷つくことがあります。
  - 必ず水平で安定した場所でご使用ください。
  - 使用中バケツが滑るおそれがありますので十分ご注意ください。
  - ペダルを踏む際は、スリッパなどの履物を履いてください。
  - ペダル部分の分解・改造は絶対にしないでください。一度分解すると組み立てできません。
  - モップを脱水する際は、必ず回転グリップ部分を握って行ってください。金属部分は回転しません。
  - モップヘッドを装着する際は、カチッと音がするまでジョイント板をしっかり押し込み、外れないことを確認してください。
  - モップに固いゴミなどがついたまま押し付けると、清掃面を傷つけるおそれがあります。
  - 金属部分の腐食やサビ・変形・変色の原因となりますので、以下のことにご注意ください。
    - ・直射日光の当たる場所や、高温多湿になる場所に長時間置かないでください。
    - ・水分、油、洗剤などが付着した場合は、素早く拭き取ってください。
    - ・シール、テープなどを貼らないでください。
  - ペダルを強く踏みすぎるとバケツが倒れるおそれがありますので十分ご注意ください。
  - 事故防止のため、ご使用後はお子さまの手の届かない場所へ保管してください。

- 天災などの不可抗力や、不当な修理・改造による事故・破損に対する補償は致しかねます。
- 製品および梱包材を廃棄される際は、お住まいの自治体の取り決めに基づいた処理をお願いします。

## パーツリストと各部のなまえ



- 製品サイズ（約）
- モップ：45cm×45cm×長さ104～134cm（伸縮） Φ3.0cm（グリップ部）  
バケツ：54.5cm×30.5cm×29.5cm 約10L

- 材質
- モップ：ポリプロピレン、ステンレス、マイクロファイバー、ABS樹脂  
バケツ：ポリプロピレン、ナイロン

**アイリスオーヤマ株式会社**      お問い合わせはお気軽にアイリスコールに  
〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号      **0120-211-299**  
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>  
暮らしに便利なお役立ち情報サイトはこちら <http://www.iris-kurashi.com/>

010814-KTK-RUJ-01

## お手入れの方法

- <樹脂部分>
- 汚れを落とす際は、薄めた中性洗剤を柔らかい布やスポンジにつけて洗い流し、陰干ししてください。
  - みがき粉やたわしなどを使用するとキズがつくことがあります。
  - シンナー、ベンジンなどの薬品は製品が変質するおそれがありますので使用しないでください。

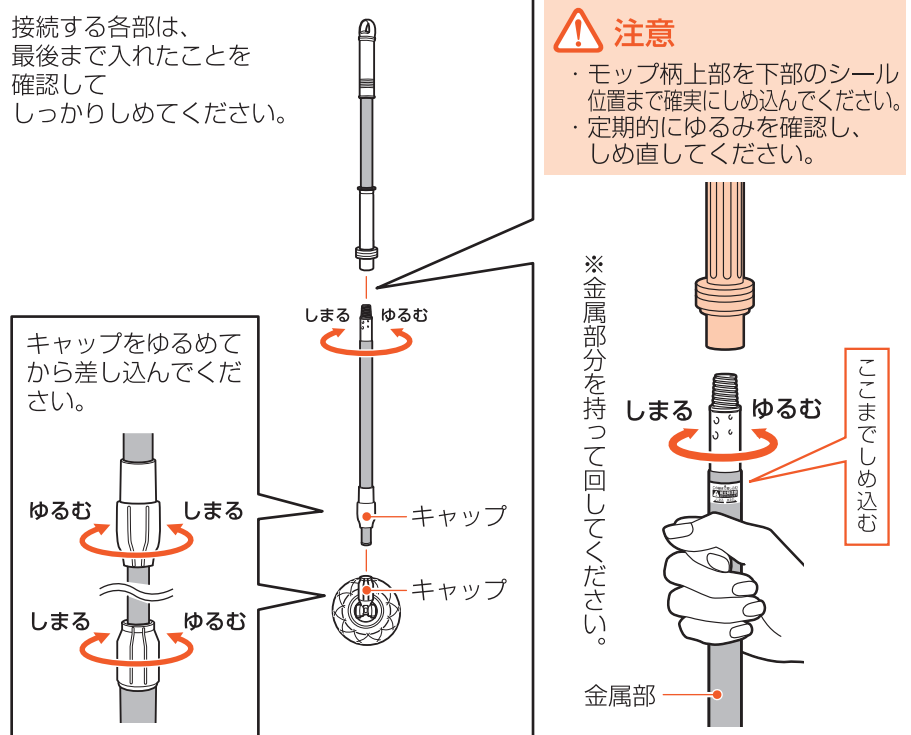
- <金属部分>
- 汚れを落とす際は、薄めた住宅家具合成洗剤で拭いたあと、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。
  - アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉などは使用しないでください。

- <モップヘッド>
- 使用後は汚れを落とし、よく乾かしてください。洗濯機は使用しないでください。
  - 汚れが落ちにくくなった場合は、洗濯用洗剤を使って手洗いしてください。
  - 油汚れなど洗濯用洗剤で落ちない汚れは、台所用洗剤を多めに入れ、もみ洗いか手洗いしてください。
  - 乾燥機は使用しないでください。樹脂部分が変形・破損するおそれがあります。

## モップの組み立て方

### 1 モップ柄 上部・下部・ジョイント板を接続する

接続する各部は、最後まで入れたことを確認して、しっかりしめてください。



### 2 モップ本体を取り付ける

#### ①ジョイント板とモップ本体の真上に合わせる

##### 注意

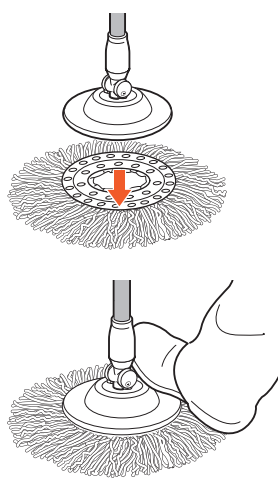
ジョイント板とモップヘッドの間に、房がはさまらないようご注意ください。

#### ②ジョイント板を踏み込む

対角線上で2カ所踏み、カチッと音がして、外れないことを確認してください。

##### 注意

踏む際は、スリッパなどの履物を履いてください。



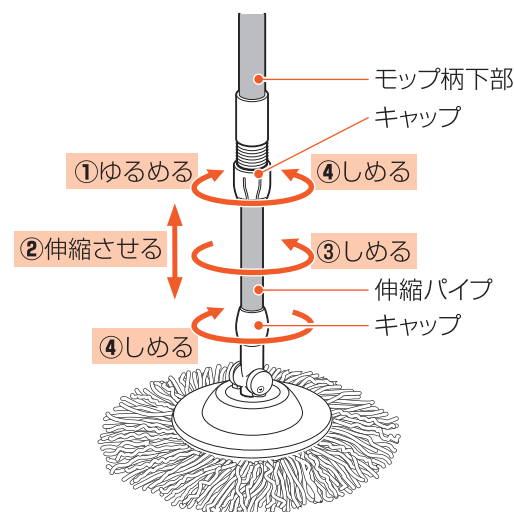
## モップの伸縮のしかた

①モップ柄下部のキャップをゆるめ、伸縮パイプを伸縮させてください。

②お好みの長さに伸縮します。

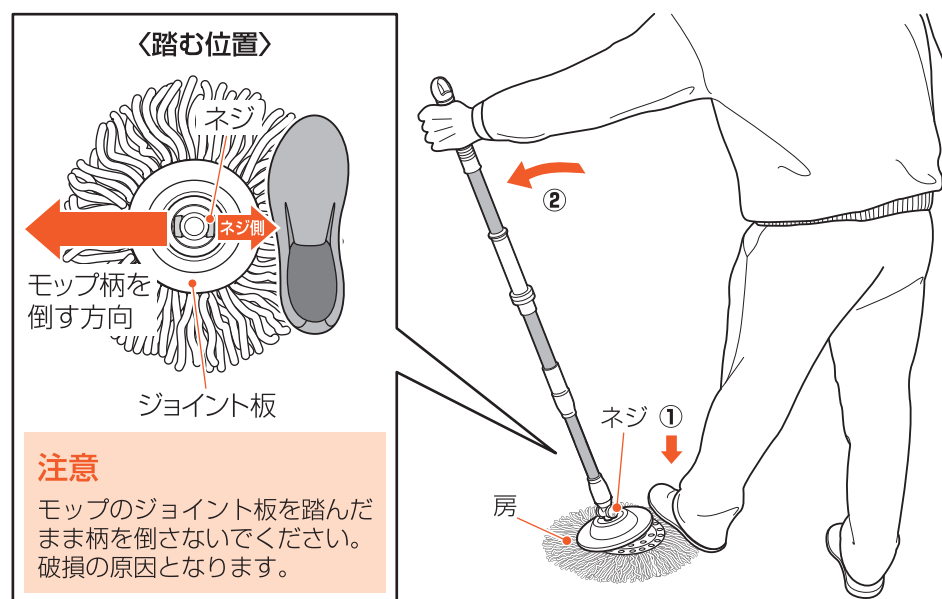
③伸縮パイプを持って回し、しっかりしめ込んでください。

④2ヶ所のキャップをしめて固定してください。



## モップの外し方

モップの柄を垂直にしてネジ側の房を踏みながら柄を倒すと外れます。



## 使い方

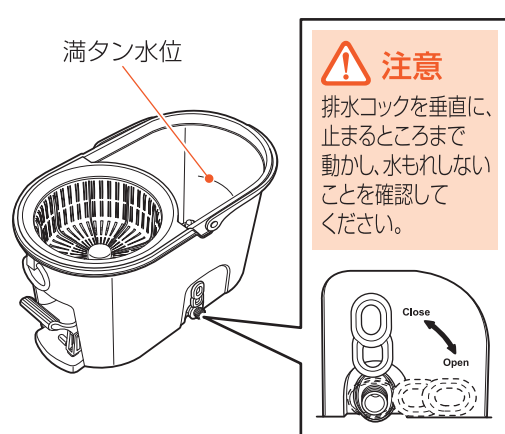
### 1 バケツの洗浄槽に水を入れる

水位はバケツ内側の満タン水位以下にしてください。

##### 注意

満タン水位以上入れると、水があふれることがあります。

水を入れすぎると、ザル部分から水が戻り、モップの水が切れなくなります。

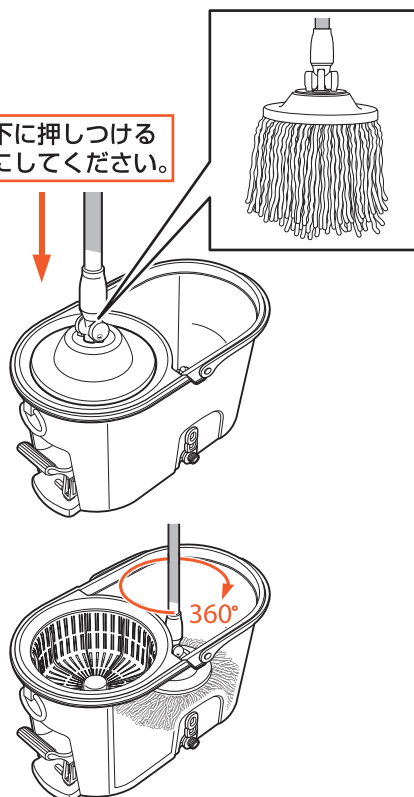


### 2 モップの柄を垂直にして水に浸したあと脱水ザルに入れる

##### 注意

- モップの房は全部脱水ザルに入れてください。房がはみ出していると回転が悪くなったり、水が飛び散ったりします。
- モップの柄をジョイント板に対して垂直にしてください。
- ジョイント板を脱水ザルに対して水平になるようにしてセットしてください。

少し下に押しつけるようにしてください。

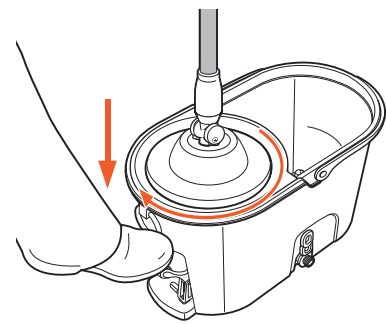


モップの汚れを取る場合は、モップ裏側の凹部を洗浄軸にはめこんでペダルを踏んでください。洗浄軸の中でモップが回転し、汚れを落とします。

### 3 ペダルを踏んで脱水ザルを回転させてモップの水を切る

##### 警告

- ペダルは、いきおい良い踏みすぎるとバケツが倒れたり、水しぶきが飛び散るおそれがあります。
- ペダルが上まで戻ってから下まで踏み込んでください。途中で踏み込むギヤが破損する場合があります。
- 脱水、洗浄の際は必ず回転グリップを持ってください。
- 始めはゆっくりとペダルを踏んでください。
- 床の材質によっては傷つくおそれがありますので、一度目立たないところで試してからご使用ください。



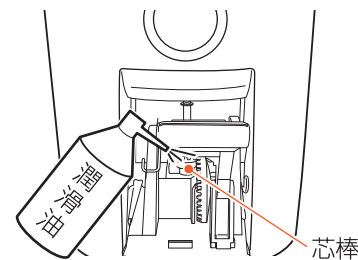
- ペダルを強く踏んでモップが十分脱水されていることを確認し、掃除を始めてください。
- 脱水が十分でない場合は、以下のことに注意して、もう一度脱水してください。
  - モップの房が全部脱水ザルに入っているか確認してください。
  - モップを脱水ザルに少し強めに押しつけてください。
  - ペダルを少し強めに踏んでください。
  - ペダルを踏む回数を増やし、十分脱水されたか確認してください。

#### ■ペダルがうまく作動しない時は

ペダルが重い、または空回りする場合は、ペダル下奥の歯車の芯棒に沿って潤滑油を注油してください。

##### 注意

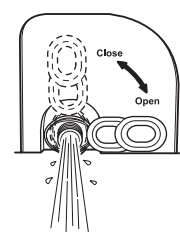
- 潤滑油を注油し過ぎないようにご注意ください。
- それでも改善が見られない場合は、弊社アイリスコールにお問い合わせください。



### 4 ご使用後の汚れた水の排水方法

#### 〈排水コックから〉

バケツ側面の排水コックを水平に、止まるところまで動かし、排水してください。



##### 注意

汚れた水が出ますので、周囲によく注意してから、排水コックを動かしてください。

#### 〈バケツのフチから〉

取っ手とリングを持ち、バケツのフチから排水してください。

